

○奈良教育長 教育委員会協議会を開会いたします。

まず、教育委員会の活動状況について、事務局から報告をお願いします。

乾口教育政策課長。

○乾口教育政策課長 それでは、教育委員の活動について、ご説明いたします。資料をごらんください。

12月1日から12月31日までの活動内容としましては、活動日、活動内容、活動場所、活動出席委員名として記載しております。

以上、簡単ではございますが、教育委員の活動の説明とさせていただきます。

○奈良教育長 続きまして、委員の活動について、所感の報告をしたいと思います。

それでは、委員を代表して、神田委員から報告をお願いします。

○神田委員 令和2年の新しい年を迎えまして、ことしもよろしく願いいたします。

1月13日は「新春走ろう会」、そして第二中学校での「はたちのつどい」に出席いたしました。晴天に恵まれ、こちらの行事におきまして、二十歳になった青年の顔は笑顔に輝いておりました。さて、きょうは、2学期に公開授業について参観したことについて述べたいと思います。

まず、昨年11月29日に、川越小学校の校内研究会の公開授業を参観しました。川越小学校では、昨年度からの授業改善などにより、学力向上があらわれてきている学校の一つであります。今年度の全国学力テストの結果分析をされまして、国語の課題の一つに語彙力があるということでした。このことから、川越小学校では全学年で語彙力を高めるために辞書を活用した語句調べを授業中に行わせ、さまざまな語句に触れる機会をふやすということを共通理解して、また9月当初の保護者への全国学力・学習状況調査の結果についての学校だよりでも、そのことを記載されておりました。

このことをより進めるため、辞書引き学習で全国的に有名な中部大学の深谷圭助教授を招聘されました。深谷教授が川越小学校の3年生に辞書引き学習について、45分間の授業をされました。導入部分では、漢字の簡単な意味や四字熟語について説明された後、辞書引きに入りました。あ行から知っている言葉に付箋に番号をつけて、どんどんつけていきます。20分間で80の言葉に付箋をつけた子供はシールなどを認めてもらって、大変喜んでいました。国語辞典は3年生から活用しますが、深谷先生の話では、調べたい言葉を調べさせるのは次の段階でいいと。どんどん言葉に触れることが大事ということです。付箋をつけることによって、子供たちも意欲的に取り組んでいました。

授業の講和では、新学習指導要領での国語教育や小学校での重要な言葉についての詳しい話がありました。国語の基礎的な語彙力を高めるために辞書引き学習が非常に有効であることを長年の研究実践から話をされました。国語辞典は3年生からとっていますが、1年生からでも取り組んでいるということです。辞書を引く動機づけが低いから、辞書引き学習によって習慣化すれば、子供たちは休み時間や家庭でどんどん調べて語彙力が高まるということです。先生が実践された愛知県のニソシの小学校や立命館小学校では、たくさんの辞書に付箋をつけたというものが報

告されておりました。

全国学力調査の全国的な傾向として、自分の考えをまとめて書きあらわしたり、複数の資料から傾向などを読み取ったりする問題の正答率が低いということと、言葉などの知識や理解の領域も課題が見られることから、この両方のバランスをとる必要があるということが大阪府教育長でも分析されて、新聞に掲載されておりました。

先日、川越小学校の1年生の先生から年賀状をいただきまして、1年生でも辞書引き学習を始めたら、1年生の子供が楽しそうにどんどん言葉を調べ、語彙がふえていくことに驚いていますと書かれていました。川越小学校のこの辞書引き学習の取り組みは国語を好きになり、国語を高める取り組みの一つといえます。

また、デジタル化が進む中で、デジタルとアナログのバランスも大事だなというふうに思いました。

次に、昨年12月2日の東香里中学校英語科の公開授業を参観しました。2年6組でマツ初江教諭が、外国人にお勧めの観光地を紹介しようという目標の授業でした。英語を中心に授業をされて、必要に応じて日本語を交え、グループ活動も取り入れて、大変内容の濃い授業でありました。学習指導案も基本的な内容がきちんと掲載されていて、今まで私が参観した中学校の指導案では、一番内容もあり、わかりやすい指導案でした。研究協議会では、東香里中学校の取り組み内容が報告されました。評価基準のルーブリックを3年が代表で作成し、全学年で共通理解していることや、授業の初めの帯学習を共有して取り組んでいくことなどの説明があり、教科部会が充実していることがよくわかりました。この後の研究討議では、各中学校1名の英語教諭などが熱心に協議し、大変熱気にあふれた研究会で非常に驚きました。

講師の東京家政大学の太田洋教授の指導助言も大変わかりやすく、的確な指導をしていただきました。この公開授業や研究協議会を通して、枚方市の中学校の英語教育はさらに進むなというふうに思いました。

次に、12月5日に、樟葉幼稚園の公開保育を参観しました。エドゥ園長から3歳児を受け入れてからの幼稚園の状況を、3歳児から5歳児の保育を参観しながら説明を聞きました。

幼稚園の職員は、園長と正職員、そして任期つき講師等で12名、預かり保育は保育士で14名で、合計24名の職員ということであります。3歳児保育を参観いたしまして、5名が欠席しておりましたけど、21名で、担任と、支援に必要な園児2名の支援員がついておりました。配慮を要する園児について、教育員会から支援員をつけていただいておりますということでありました。今後、小学校のように、配慮を要する園児がふえてくれば、どのように対処するかが課題ということでありました。4歳児、5歳児は、3歳児とはかなり成長しており、保育内容も大変よかったです。

樟葉幼稚園の預かり保育の状況は、午前7時から5名程度、午後からは二十数名ということでありました。3歳児は今年度初めての受け入れですので、戸惑いもありますが、来年度に向けて課題を整理していただいて、一つ一つ解決していく必要があると思いました。

以上、所感といたします。

○奈良教育長 ありがとうございます。本日の公開とする協議会は以上となります。